

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : 消火設備用消火薬剤 第3種浸潤剤等入り水 品評剤第24～1号
整理番号 : WA-SJZ-005(4)
会社名 : 日本ドライケミカル株式会社
住所 : 〒114-0014 東京都北区田端 6-1-1 田端 ASUKA タワー
担当部門 : 技術本部
電話番号・FAX : TEL 03-5815-5025 FAX 03-3822-9770

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A

上記以外の項目については、区分に該当しない、又は分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 皮膚刺激
強い眼刺激

注意書き :

安全対策 : 取扱後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。応急処置 : 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて
容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

保管 : 使用温度範囲内の温度で保管すること。

廃棄 : 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物

化学名	含有率(%)	CAS No.
消炎剤	42	あり
不凍剤	7.9	あり
ジエチレングリコール	0.88	111-46-6
ふっ化ナトリウム	0.40	7681-49-4
防錆剤	微量	あり

4. 応急措置

- 吸吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、安静にする。
必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水で洗い流し、痛み等の症状が出た場合、
必要に応じて医師の診察/手当を受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は
外すこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が続く場合は医師の診察/手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
急性症状および遅延性症状の最も重要な徴候症状: 徴候症状および影響に関する具体的な情報なし。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項: 医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 本製品は消火剤であり不燃性である
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 特有の危険有害性 : 燃焼の際にアンモニアガス、窒素酸化物、硫黄酸化物を生成する。
- 消火を行う者への勧告
- 特定の消火方法 : 関係者以外は安全な場所に退去させる。
霧状水により容器を冷却する。
安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。
消火作業は、可能な限り風上から行う。
- 消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置 : 消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
- : 関係者以外は近づけない。
作業者は適切な保護具を着用する。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項
- : 薬剤及び洗浄に使用した水が、下水/河川等に流出し、環境への影響を起さないようにする。
下水、排水中には流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
- : 少量の場合は、ウエスなどで拭き取る。
漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。
大量の場合は、スコップ等を用いてから容器に回収し、珪藻土等に吸着させ、空容器に回収する。
- 二次災害の防止策
- : 汚染箇所を水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : (火災・爆発の防止) 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
(局所排気、全体換気) 排気/換気設備を設ける。

	(注意事項)皮膚および眼に触れないようにする。
安全取扱注意事項	: 換気の良い場所で取扱うこと。 指定された個人用保護具を使用すること。
接触回避	: 直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。
衛生対策	: 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 取扱後はよく手を洗う。
保管	
安全な保管条件	: 換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。 直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。
安全な容器包装材料	: 製品容器、該当する消火設備。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露防止 設備対策	: 密閉された装置を使用する。 排気/換気設備を設ける。 洗眼設備を設ける。 手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	
呼吸器の保護具	: 呼吸器保護具(マスク)
手の保護具	: 保護手袋(非浸透性もしくは耐化学品ゴム)
眼の保護具	: 保護眼鏡(化学品用)
皮膚及び身体の保護具	: 保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色
臭い	: 無臭
融点/凝固点	: -20.1℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: なし
引火点	: なし
自然発火点	: なし
分解温度	: データなし
pH	: 6.5
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水;自由に混合、有機溶媒;エタノールに可溶
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.265g/cm ³
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常条件で安定
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 直射日光、炎、火花、高温体
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: アンモニアガス、窒素酸化物、硫黄酸化物

11. 有害性情報

急性毒性 経口	: 計算値(ATE _{mix}) > 2000mg/kg 区分に該当しない
経皮	: 分類できない
吸入	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: [製品]区分2 [成分データ]消炎剤、不凍剤: 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: [製品]区分2A [成分データ]消炎剤、不凍剤: 区分2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性 水生環境有害性 短期(急性)	: 分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	: 分類できない
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法規、地方自治体の基準に従って廃棄すること。都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理すること。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
汚染容器・包装: 内容物を完全に除去した後に、残余廃棄物と同様、適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: 非該当 (消火器に充填した場合は UN1044)
品名	: 非該当 (消火器に充填した場合は 消火器)
国連分類	: 非該当 (消火器に充填した場合は 2.2)
容器等級	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当

国内規制 :陸上規制情報 消防法に従う
:航空規制情報 航空法に従う
:海上規制情報 船舶安全法に従う
輸送の特定の安全対策及び条件 :輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
容器が密栓されていることを確認する。

15. 適用法令

労働安全衛生法 :法第57条の2(施行令第18条の2)名称等を通知すべき有害物
ふっ化ナトリウム [No.487]
[参考]厚生労働省令第121号「労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行令
について」(令和5年9月29日)の施行後に対象となる物質
ジエチレングリコール (施行日:令和7年4月1日)
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)
:非該当
毒物劇物取締法 :非該当
水質汚濁防止法 :施行令第2条
アンモニア化合物
:施行令第3条
窒素含有量、リン含有量
排出濃度によりBOD、CODの規制を受ける。

16. その他の情報

本安全データシート(SDS)は、JIS Z 7252/7253:2019に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。
記載内容は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、弊社はSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保障するものではありません。